

第1学年1組 道徳科学習指導案

令和2年12月3日(木) 第3校時

授業場所 1年1組教室

児童数 26名(14名 12名)

授業者 和氣拓巳

1 主題名 正直な心で 内容項目【A-(2) 正直、誠実】

2 本時のねらい

主人公の失敗談から、どうすべきだったか、なぜそうできなかったかを考える活動を通して、嘘をついたことを正直にいう難しさや、それでも正直であることが大切であることに気づき、嘘でごまかさず、間違いを認める正直な自分でいようとする心情を育てる。

教材名 どんぐり(出典『新しい道徳1』東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることが求められる。また、自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心掛けようとする姿勢をもつことが大切である。過ちや失敗は誰にも起こり得ることである。そのときに、ともするとそのことで自分自身が責められたり、不利な立場に立たされたりすることを回避しようとしてうそを言ったり、ごまかしをしたりすることがある。しかし、そのような振る舞いはあくまでも一時しのぎに過ぎず、真の解決には至らない。このことによって、他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさでもある。このような誠実な生き方を大切にすることを育てていくことが重要である。

低学年段階においては、発達的特質から、特に自分自身の言動を他者から叱られたり笑われたりすることから逃れようとする気持ちが働くことが少なくない。そのために、うそを言ったりごまかしをしたりして暗い心になることが見受けられる。いけないことをしてしまったときには素直にその非を認め、あやまることができるとともに、人の失敗を責めたり笑ったりしないようにし、正直で素直に伸び伸びと生活できる態度を養うようにすることが求められる。指導に当たっては、うそやごまかしをしないで明るい心で楽しく生活することの大切さを押さえておくことは、児童が成長の過程で健康的な自己像を確立していくためにも大切なことである。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

これまで、各教科等の授業において、「自分はどうか考えるか」を問うことや「今日の自分はどうかだったか」を振り返らせたりすることを大切にしてきた。しかし、まだ自分の思いを言語化できなかったり、そもそも振り返ることが難しかったりする児童もいる。

本学級の児童は、失敗や過ちを認められる児童がいれば、認められない児童もいる。個人差があり、失敗や過ちについて素直に認められない子は多い印象である。しかし、徐々に自分の失敗や過ちを認めたり、他人の失敗や過ちを許したりすることができる児童が育っていると感じる場面もある。

アンケートの結果

質問	回答	
①失敗や間違いをしてしまったときに、正直に言うことは大切だと思いますか。	はい→25人 いいえ→1人	
②それはなぜですか	<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嘘をついたら罰が当たるから。 ・ 嘘をつくとも怒られるから。 ・ 嘘がバレて後から怒られると嫌だから。 ・ 嘘をついてはいけないから。 ・ 嘘をついたら泥棒だから。 ・ 正直に言うといい気持ちだから。 ・ 正直に言わないと大変なことになるから。 ・ 正直に言えば、怒られない。 ・ 本当のことを言うと許してくれるから。 ・ 正直じゃないといけないから。 ・ 本当のことを言わないと後から気になっちゃうから。 ・ 自分もすっきりしないから。 ・ 失敗しても、次頑張ればいいから。 ・ そのまんまにしたらずっとしちゃうから。 ・ 嘘をついたら、本当のときも信じてくれないから。 	<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正直に言うとも怒られちゃうから。

アンケートでは、はいと答えた児童が25人、いいえと答えた児童は1人だった。ほとんどの児童が、正直に言った方が良くと回答している。その理由を見ていると、「嘘をつくとも怒られるから」という趣旨の回答が7名いた。また、いいえと回答した1名の児童が、「正直に言うとも怒られちゃうから」と回答している。つまり、8名の児童は、「嘘をつくとも怒られるから、正直に言わないといけない。」や、「失敗を正直に言うとも怒られちゃうから。」と、怒られること自体が、行動の判断基準になっていることがわかる。つまり、「怒られなければ、嘘をついても良い。」「怒られな

ければ本当のことを言える。」と考えている児童が多いことが窺える。

(3) 教材の特質や活用方法について

教材文「どんぐり」は、主人公が学校から帰る途中、ダメだとわかっていたのに寄り道をしてしまい、お母さんに嘘をついて寄り道をしたことを隠そうとする話である。誰でも一度は、自分の失敗や過ちの経験があると思う。大切なことは失敗や過ちを正し、次の自身の行動につなげようとする態度であるとする。そのためには、自らの失敗や過ちを素直に認め、正直な自分であることが不可欠である。本教材は正直、誠実について、考えるきっかけを与えてくれる教材である。

本学級の児童の実態を受け、主に次のことを中心に語り合うこととする。

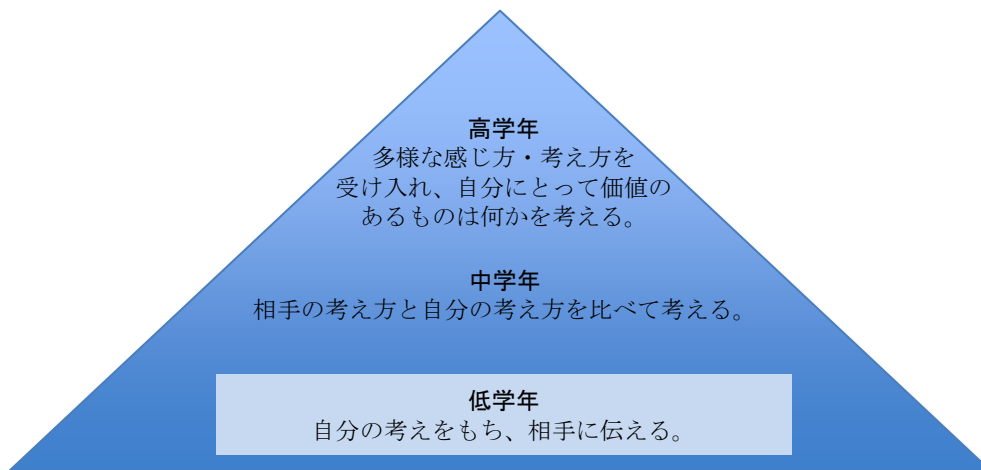
○「教材文の続きを考えたとき、ようすけは本当のこと言ったか、言わなかったかを考える。」を通して、正直であることの難しさを理解しつつも、正直でいようとすることの大切さに気づいてほしい。

4 学校研究との関わり

【研究主題】 自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする心の力を育む道德教育

～考え、議論する道德を目指した授業づくりを中心に～

目指す「考え、議論する」姿



上記の研究主題を具体化するために、以下の手立てを講じる。

【手立て】

① アンケートでの事前調査

「正直であることは大切か」、「その理由」を事前に調査し、本授業を構想する。子供たちは、アンケート結果から、正直であることは大切であると述べるが、実際はできていないことが多い。しかし、当人たちはそのことに気づけていない。ここが問題である。アンケート結果から、子供たちの課題が浮き彫りとなった。アンケート結果を、課題に迫るための手段として、授業構想に役立てることができた。

② 切り返しの工夫

子供たちの意見をそのまま聞き入れるだけでなく、「Aさんはこう言っているけど、Bさんはどう

思う？」と他の子供に問うことで、お互いの思いを発表するだけでなく、互いの意見について「私はこう思う。」を積み重ねていきたい。人は皆それぞれ意見を持っていて、意見が違って当たり前である。お互いの意見を共感し合いながらも、違うところを示していくことで新たな価値観に気づけるようにしていきたい。また、当たり前だと誰もが思うような事柄に対しても、「本当にそうかな？」「どうして？」と切り返していくことで、表面上の理解でおわらず、議論をさらに深め、価値について深く考えを巡らせてほしい。

③ ワークシートの工夫 (図1)

本校の研究主題に迫ることができるよう、振り返りでは、考えを持てたか、考えを伝えられたか、考えを聞けたか、の3点を振り返る。このワークシートを毎回使用することで、目指す子供の姿に迫ることができるようにした。

<p>きょうのじぶん</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">① かんがえをもてた。</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">② かんがえをつたえられた。</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">③ ともだちのかんがえをきけた。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">😊</td> <td style="text-align: center;">😊</td> <td style="text-align: center;">😊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">😊</td> <td style="text-align: center;">😊</td> <td style="text-align: center;">😊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">😞</td> <td style="text-align: center;">😞</td> <td style="text-align: center;">😞</td> </tr> </table>	① かんがえをもてた。	② かんがえをつたえられた。	③ ともだちのかんがえをきけた。	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😞	😞	😞	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>					<p>きょうのじゅぎょうでかんがえたこと</p> <p style="text-align: center;">「だい」「かい」 どうとく</p> <p style="text-align: center;">なまえ ()</p>
① かんがえをもてた。	② かんがえをつたえられた。	③ ともだちのかんがえをきけた。																
😊	😊	😊																
😊	😊	😊																
😞	😞	😞																

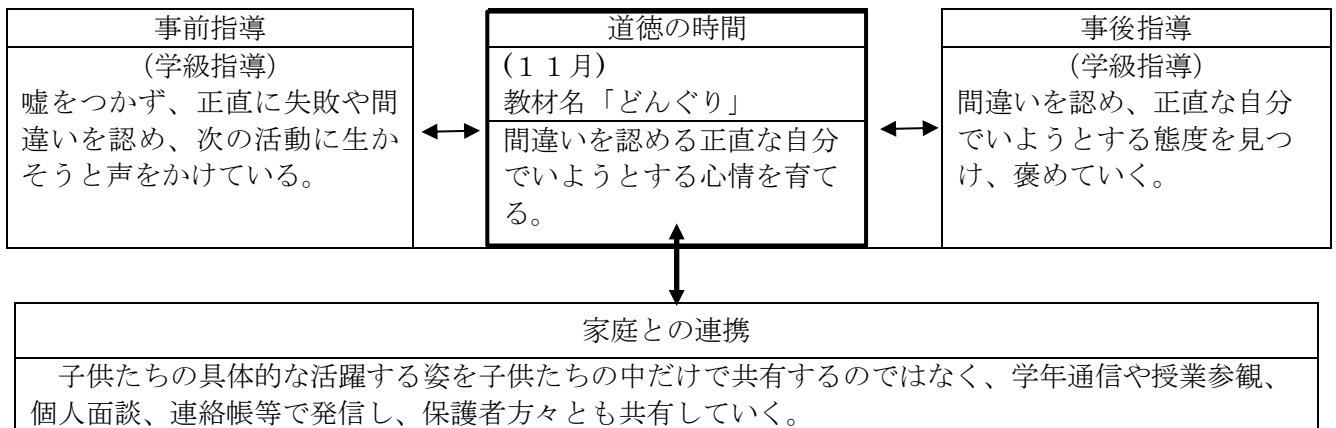
(図1 ワークシート)

5 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	・予想される児童の発言	○指導上の留意点 ☆評価の視点
導入 (5分)	<p>1 アンケート結果を提示する。 「悪いことをしてしまったとき、正直に本当のことを言ったほうがいいと思いますか？また、それはどうしてですか？」</p> <p>2 テーマについて知る。 「今日は正直について考えていこうね。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正直に言ったほうがいい。 理由 →嘘をついたら怒られるから。 →正直に言うと気持ちがいいから。 →自分もすっきりしないから。 →そのまんまにしたらずっとしちゃう。 正直に言わないほうがいい。 理由 →怒られるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 座席はコロナウィルス感染防止のため、前向きで等間隔に配置する。 ○ アンケート結果をもとに、既存の価値観を共有し、本時のテーマについて考えやすい状況をつくる。 ○ あえて人数の内訳は伝えない。多数派かどうかを気にする児童が出てこないようにするため。 ○ テーマを提示し、この授業で考えることを明確にする。
展開 (前半12分 後半20分)	<p>3 教材文「どんぐり」の範読を聞き、話し合う。 (発問1) 「どんぐりを拾っているときのようすけはどんなことを考えていたかな？」</p> <p>(発問2) 「おかあさんにじっと見られているときようすけはどんなことを考えていたでしょうか？」</p> <p>(発問3) 「おかあさんはどんなふうに思っているかな？」</p> <p>(発問4) 「もっともっと胸がどきどきしたようすけはどんなことを考えていたかな？」</p> <p>(発問5) (中心発問) 「正直に言えなかったようすけになんて声をかけますか？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> どんぐり拾えて嬉しいな。 ちょっとぐらい大丈夫。 すぐに帰ればバレない。 やばい、バレる。 やらなければよかった。 本当のことを言ったほうがよかったかな。 本当のことを言うと怒られそうだが嫌だな。 俯いてるし、ただいまも言わないなんて怪しい・・・。 本当のことを言ってほしいな・・・。 また嘘をついてしまった。 どうしよう、本当のことを言おうかな。 このどきどきは一体なんだろう。 怒られるからそのまま黙っていた方がいいよ。 →本当に黙っていいの？ 嘘をつくと怒られるから、早く本当のことを言った方がいいよ。 →怒られるから本当のことを言った方がいいの？ お母さんが悲しむから、本当のことを言った方がいいよ。 →でも怒られちゃうかもしれないよ？ モヤモヤするから、早く本当のことを言った方がいいよ。 →でもきつと怒られるよ？それでいいの？ 次も同じことをしないように、悪いことはちゃんと正直に言って、怒られた方がいいよ。 →じぶんが今後、同じ失敗を繰り返さないために、正直に言った方がいいってこと？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物や状況を確認する。 ○ 場面絵を貼り、状況をとらえやすくする。 ○ 悪いことをしているときには、このあとのことは考えていないということや、そのときは楽しいということを押さえることで、この後の議論の時間につなげたい。発問1から3については短時間で終わらせ、中心発問に時間を充てる。 ○ 子供たちの発言を板書し、評価する。 ○ 友達の見解について、大切に聞くよう指導する。 ○ 発問1から4までで、主人公の心情に迫り、正直に本当のこと言うこと、嘘をついてしまったことを正直に話すことの難しさを考えてもらいたい。 ○ 議論する前に、一度一人で考える。 ○ 帽子の色で自分の考えを示す。 ○ ペアで話す場面を設定し、自分の意見を他者に伝えやすくする。 ○ 教師は、議論が深まるように子供の発言に切り返し、子供の思考を促進させる。 ○ 多くの子供たちが発言できるように、発言できていない子供にはこちらから指名する。 ☆ 多様な考え方に触れ、多面的・多角的に「正直でいること」について考えることができていくか。 ○ 言ったか、言わなかったかを考える活動を通して、結果どうなったかよりも、「正直に言う」ということについて議論していく。議論中、ようすけはどうするか、ということに、自分の思いを乗せて、正直な気持ちを話せる場とした。最後は、正直に言った方がいいが、難しいのもわかるとした上で、終末に繋げたい。

終末 (8分)	4 振り返る。 「正直でいることはなぜ たいせつなのか、今日考 えたことを書いてみよ う。」	<ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱり嘘をついてはいけないと思うから。 ・ 嘘をつくと、他の人が悲しんだり、自分もあとで悲しい思いをしたりするから。 ・ 嘘をつくと、またしちゃうから。 ・ 嘘をついても、何も解決しないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帽子をとって書くよう伝える。帽子をとることで、次は自分と向き合うと気持ちを切り替えるようにする。 ○ 振り返り際には、何を学び、何を考えたかを詳しく書けるように声かけをしていく。 <p>☆自正直でいることの難しさを理解しながらも正直でいることの大切さに気づいているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 説話をし、実際に起こった話を聞いて、改めて正直でいることの大切さに気づいてもらう。
	5 教師の説話を聞く		

6 他の教育活動との関連



7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

主人公の行動について、様々な状況や立場から考え、話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

これまでの自分を振り返りながら、嘘をつかずに正直でいることの大切さに気づき、今後の自分に生かそうとしている。

8 板書計画 (テレビ)

アンケート
結果
(テレビ)

- おこられるからこのままだまってなよ。
- おこられるからほんとうのことをいったほうがいいよ。
- このままだとモヤモヤするよ。
- 悪い人になっちゃうよ。
- つぎも同じことをしてしまおうよ。

しようじきにいえなかったようすけに、なんでこえをかけますか？

- またうそをついちゃった
- どうしようほんとうのことをいづら

- おこられるのいやだ
- うそをつけばバレない

- ほんとうのことをいってほしい。
- しようじきな人になつてほしい。

- おかしい
- うそをついているかもしれない。

かえりがおそくなつてしまつたようすけは、うそをついてしまふ・・・。

【どんぐり】

- ちよつとぐらいいいや。
- バレないしいいや。

しようじき

柏原小学校 道徳科授業フランニングシート

① 内容項目

内容項目 (A—(2))
正直、誠実

② 教材名

教材名 どんぐり

③ 教師の道徳的価値観の
明確化

嘘をついたりごまかしたりしないで、正直に、誠実に行動してほしい。生きていれば、失敗もある。ときには誘惑に負けてしまうこともあるかもしれない。しかし、間違いを誤魔化すのではなく、間違いを認め、次の自身の行動につなげていく、自己修正能力や、失敗を失敗だと受け止められる心を育ててほしい。

④ 児童の実態

個々に目を向ければ、失敗を認められる児童がいれば、認められない児童もいる。最初は小学校生活が始まり、失敗を恐れる児童も多かったが、徐々に自分の失敗を認めたり、他人の失敗を認めたりすることができる児童が育っていると感じる場面を見かける。

⑤ ねらい

(A) 主人公の失敗談から、どうすべきだったか、なぜそうできなかったかを考える活動	を通して
(B) 嘘をついたことを正直にいう難しさや、それでも正直であることが大切であることに	気づき、
(C) 嘘でごまかさず、間違いを認める正直な自分でいようとする心情	を育てる。

⑥ 中心発問 ◎
補助発問 ○
児童の反応 ・

◎このあと、ようすけは本当のことをお母さんにいったかな？
イエス or ノー (青白帽子で意思表示)
イエスの子たち
○ どうして言ったの？
○ さっき言えなかったのに本当に言えるかな？
○ 言った方がいいのかな？ ママに怒られるんじゃない？
ノー
○ どうして言わないの？ 正直って大切なことなんですよ？
○ 言わなくていいの？
○ 言わなかったらこのまま嘘つきのままだよ？ それでいいの？

① その他（前・後）の発問

前	<ul style="list-style-type: none"> • どんぐりを拾っているときのようすけはどんなことを考えていたかな？ • お母さんにじっとみられているときのようすけの気持ちは？（1つ目の嘘） • さっきより胸がドキドキしたのはどうしてかな？（2つ目の嘘） • お母さんはどう思ってるかな？
後	<ul style="list-style-type: none"> • 正直はなぜ大切なのかな？（振り返り）

② 導入

- 正直ってどんな意味か知っていますか？（嘘と反対？）
- 正直って大切なことですか？

③ 終末


- 正直はなぜ大切なのかな？（振り返り）

※ 評価の視点を1時間の中に入れる。④自分事としてとらえる／⑤多面的・多角的

板書計画

しょうじきはなぜたいせつなのか？


このあと、ようすけはほんとうのことをいえたでしょうか



○ 怒られるの嫌だな・
○ うそをつけばバレない

○ 怒られるの嫌だな・
○ うそをつけばバレない

【どんぐり】




○ ちょっとぐらいいいや。
○ バレないしいいや。

しょうじきはなぜたいせつなのか？

○ うそをつかないこと
○ しょうじきはたいせつなこと

かえりがおそくなってしまったようすけうそをついてしまう・・・。



○ おかしい
○ うそをついている
○ かもしれない。

言える
・おすつきりしたい。
・をかかあさんに心配
・うそはよくないか

言わな
・怒られたくない。
・このまればれない。
・はずだ。まばらなきやい

授業後の振り返りやメモなど